

(一般情報)

しつこいカメムシに！複数回防除で一網打尽！

～ドローンによる防除作業の省力化～

千葉農業事務所改良普及課 令和2年8月5日発

八千代市北東部では、ここ数年、大型カメムシによる水稻の斑点米発生が問題となっています。農業事務所では、空中散布による共同防除と、追加の薬剤散布を組み合わせた防除を指導してきましたが、共同防除が大型カメムシの防除適期を外れる場合があることや、追加散布の労力負担が大きいことが課題となっていました。

そこで農業事務所では、7月16日に、防除作業の省力化を実証するため、ドローンによる薬剤散布試験を行いました。また、市内でドローン薬剤散布に取り組み始めた若手農業者に作業を依頼することで、今後の作業受委託の体制構築も狙いとしました。散布時には、オペレーター2名の他、生産者6名が集まり、ドローンを活用した防除への関心の高さがうかがわれました。今後、農業事務所は、防除効果の検証とコスト計算を行い、農作業の省力化を支援していきます。



オペレーターの若手農業者と
参加者が情報交換を行う



散布前の点検を行う様子